

## 無試薬式遊離残留塩素計

## 校正操作手順書



## 校正時におけるモニター操作方法について

ゼロ点やスパン点が基準値より外れてしまった場合は、下記手順に従って2点校正をおこなってください。

番号	モードシンボル、画面	操作	内容
1			シンボル：現在測定状態です。
			同時に押します。
2			前回の校正データを表示します。
			
3			Free Cl <sub>2</sub> が表示され、遊離塩素測定値の校正メニューであることを表示します。
			
4			Zeroが表示されます。 ゼロ点校正またはスパン点点校正を選択します。
			※ここではゼロ点校正を選択します。

5		 	<p>砂時計が点滅しゼロ点校正を実施します。</p> <p>※約 20 秒前後で校正が完了します。</p>
			
6			<p>ゼロ点校正完了後、左記画面が表示されます。</p>
			
7			<p>Span が表示されます。</p> <p>ゼロ点校正またはスパン点点校正を選択します。</p> <p>※ここではスパン点校正を選択します。</p>
			
8			<p>砂時計が点滅しスパン点校正を実施します。</p> <p>※約 20 秒前後で校正が完了します。</p>
			
9		 	<p>スパン校正完了後、左記画面が表示されます。</p> <p>スパン点にズレが生じている際は、調整を実施してください。</p>
			
10		 	<p>スパン点校正のスロープ値を記録します。</p> <p>※ここでは YES を選択します。</p>
			

株式会社ティ・アンド・シー・テクニカル  
 商品開発課  
 残留遊離塩素計校正手順書 2019/8/9

11	<p style="text-align: center;">Information</p> <p>1. Cl Cal:                  -Time: 2013/01/01 09:00                  -Zero: -0.01uA                  -Slope: 102.3%</p> <p>2. Motor: Auto, Detect ON                  3. Return: Auto, 03m:00s</p> <p> <input type="button" value="CAL: Back"/> <input type="button" value="▲: ▲"/> <input type="button" value="▶: ▶"/> <input type="button" value="ENT: Enter"/> </p>		最新の校正データを表示します。
			
			測定画面に戻ります。

以上